

日米投信概況

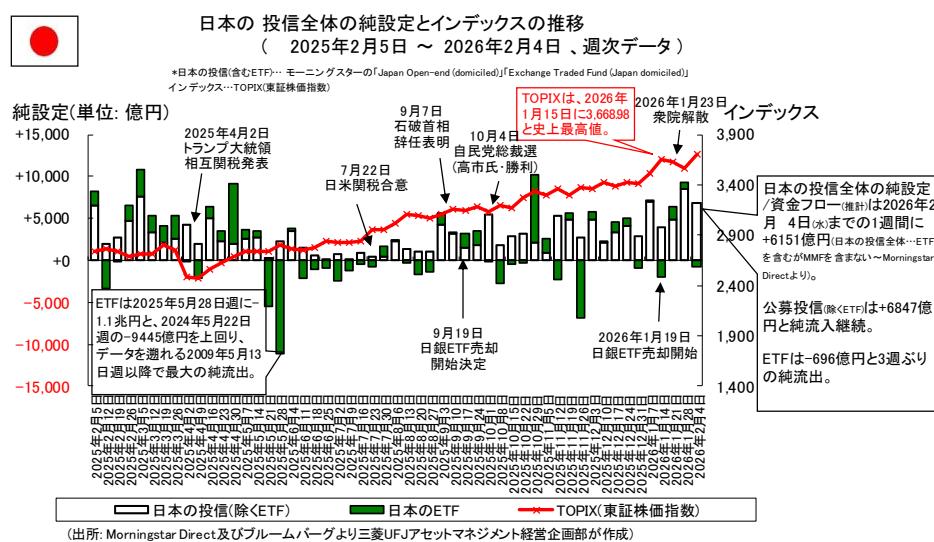
自民圧勝期待(→実現)で日本株ファンドに流入！ 日銀保有ETF売却、
日米で金(ゴールド)ファンドに流入～世界のゴールド/金関連ファンド(ETFを含む)～

三菱UFJアセットマネジメント株式会社 経営企画部 松尾健治（シニアリサーチアナリスト）
窪田真美（シニアリサーチアナリスト）

- 自民圧勝期待(→実現)で日本株ファンドに大きな資金流入！ 日銀保有ETF売却開始!!
金(ゴールド)ファンドにも大きな資金流入!!! p.1
 - 米国で米国株や金(ゴールド)のファンドに資金流入～世界のゴールド/金関連ファンド(ETFを含む)～ p.5

●自民圧勝期待(→実現)で日本株ファンドに大きな資金流入！ 日銀保有ETF売却開始!!
金(ゴールド)ファンドにも大きな資金流入!!!

日本籍の投信全体の純設定/ファンド(マネー)フロー推計は2026年2月4日(水)までの1週間に+6,151億円と10週連続純流入(日本籍投信全体…ETFを含むがMMFを含まない～Morningstar Directより)。 公募投信(除くETF)は+6,847億円と2024年1月3日週より純流入継続。 ETFは-696億円と3週ぶりの純流出(前週1月28日週+647億円→1月21日週+1556億円→1月14日週-1966億円)。



ETFについて、2026年1月16日に日本銀行が保有ETFについて2026年1月19日(月)から売却を実施すると発表、2026年1月31日現在の日銀保有ETFは簿価で37兆1,808億円と前回発表の1月20日時点の37兆1,862億円から54億円減少している(2026年2月3日付日本銀行公表の営業毎旬報告の「金銭の信託(信託財産指數連動型上場投資信託)」~ <https://www.boj.or.jp/statistics/boj/other/armal/release/2026/ac200131.htm>)。「通常、ETFの受け渡しには2日間を要する」(2026年2月3日付ブルームバーグ「日銀『異例措置』の縮小進む、保有ETFの売却を開始—CP残高もゼロに」~ <https://www.bloomberg.com/jp/news/articles/2026-02-03/T9Q3LIT9NLT00>)というが、1月19日から28日にかけて売却が行われたと考えられる。

参考までに2026年2月以降の日本のETF全体の純設定は2026年2月2日(月)-11億円、2月3日(火)-1,014億円、2月4日(水)+247億円、2月5日(木)-310億円、2月6日(金)+1291億円。日本最大のETF(TOPIX型)は、2026年2月2日(月)+74億円、2月3日(火)-527億円、2月4日(水)-2,658万円、2月5日(木)-1,945万円、2月6日(金)+622億円(日銀ETFについては、2026年1月26日

付投信調査レポートNo.450「世界のAI関連株ファンド～米国でETFが過去最大の純流入(設定も急増)～日本株ファンドに1年5か月ぶりの大きな流入～消費税と長期金利と日銀ETF～」https://www.am-mfg.jp/report/investigate/report_260126.pdf）

公募投信(除くETF)の2026年2月4日週の純設定額+6,847億円について分類別に見る。純流入1~5位はグローバル

株、米国株、商品、グローバル株(除く日本)、日本株大型ブレンド。2026年2月4日週の純流出1~3位はトレーディング・レバレッジド/インバース、モデレート・コンサバティブ・アセットアロケーション、日本株中小型バリュー。

日本の投信の分類別週間純流出入(純流入の大きい順)
*ETF・MMFを含まない。週次推計の為、月次のものとは異なる。

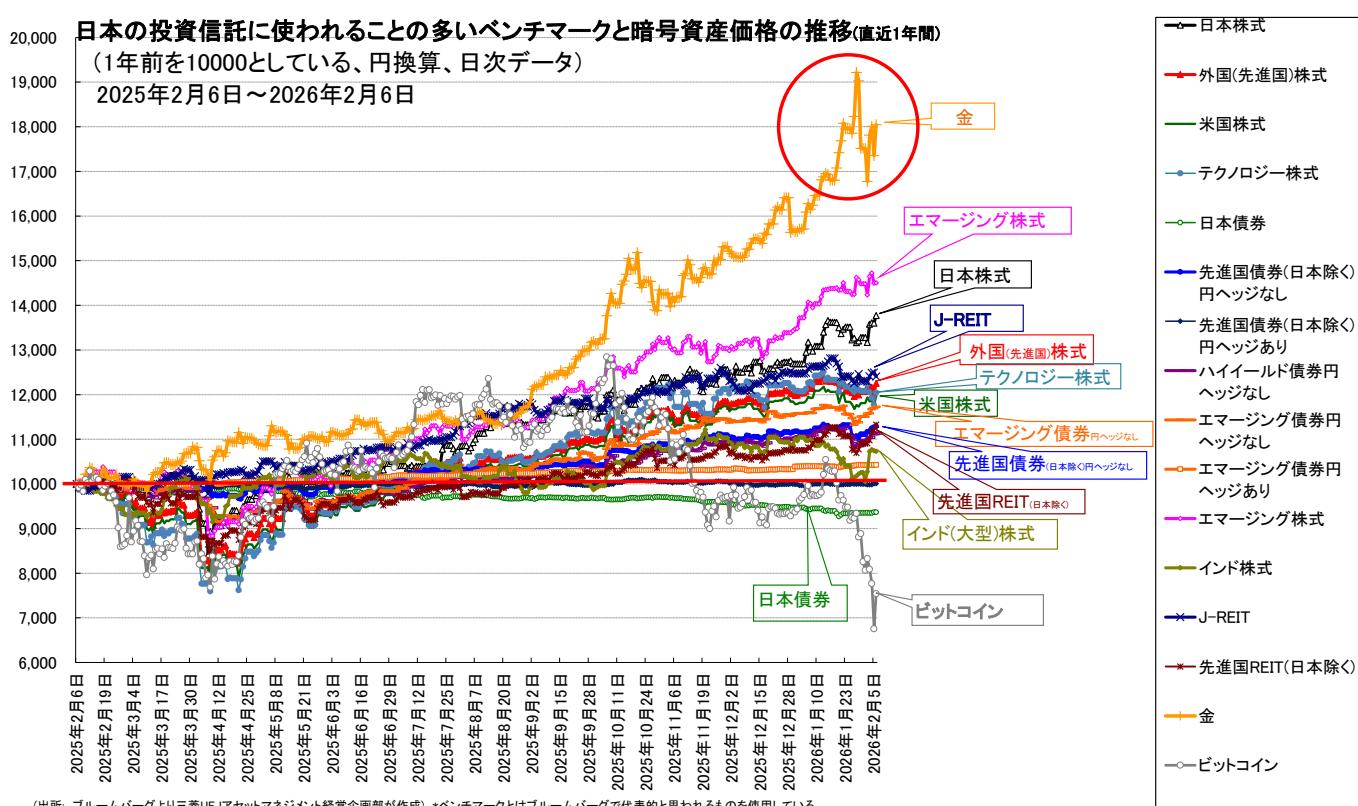
2026-02-04現在
(和訳は三菱UFJアセットマネジメント経営企画部)

順位	分類名 (Morningstar Categories)	純流入 最新週 (百万円)	純流入 前週 (百万円)	純流入 4週計 (百万円)	純資産 (百万円)	備考
1	World Equity	+218,939	+244,942	+758,474	29,041,640	グローバル株
2	US Equity	+116,276	+102,550	+391,041	32,417,914	米国株
3	Commodity	+81,014	+92,379	+282,813	3,800,275	商品
4	World ex-Japan Equity	+57,092	+91,992	+222,619	17,472,959	グローバル株-日本を除く
5	Japan Large-Cap Blend Equity	+49,509	+76,771	+197,006	7,650,640	日本株大型ブレンド
6	Conservative Allocation	+42,424	-2,925	+28,729	2,837,593	コンサバティブ・アセットアロケーション
7	Moderately Aggressive Allocation	+36,373	+36,125	+105,960	5,808,563	モデレート・アグレッシブ・アセットアロケーション
8	Sector Equity Technology	+24,839	+33,010	+76,503	9,733,614	テクノロジー株
9	Japan Large-Cap Value Equity	+20,281	+20,540	+65,821	2,376,520	日本株大型バリュー
10	Aggressive Allocation	+19,417	+25,764	+73,144	1,274,939	アグレッシブ・アセットアロケーション
18	Japan Specialty Equity	+4,047	+4,909	+13,505	762,128	日本・特定テーマ/セクター株
26	Japan Small/Mid-Cap Blend Equity	+1,515	+1,100	+4,790	366,032	日本株中小型株ブレンド
68	Japan Small/Mid-Cap Growth Equity	-1,049	-1,835	-7,656	1,098,913	日本株中小型株グロース
76	Sector Equity Healthcare	-1,753	+542	-7,740	874,714	ヘルスケア株
77	US REIT	-2,285	-9,763	-20,245	2,138,037	米国REIT
78	Other Bond	-2,490	-865	-7,198	572,181	その他債
79	US Equity - JPY Hedged	-2,813	-3,633	-10,465	544,597	米国株-円ヘッジ
80	Japan REIT	-3,120	+4,927	+2,782	2,397,906	日本REIT
81	India Equity	-7,169	-13,104	-41,599	2,700,853	インド株
82	Japan Large-Cap Growth Equity	-8,221	+48,552	+84,460	9,049,461	日本株大型グロース
83	Japan Small/Mid-Cap Value Equity	-12,930	+7,337	+5,416	1,684,405	日本株中小型バリュー
84	Moderately Conservative Allocation	-13,678	-32,127	-71,238	3,103,095	モデレート・コンサバティブ・アセットアロケーション
85	Trading - Leveraged/Inverse	-14,145	+8,749	-5,554	723,434	トレーディング・レバレッジド/インバース
全85分類の合計		+684,735	+857,633	+2,425,275	180,523,085	
指標名		リターン※ 最新週(%)	リターン※ 前週(%)	リターン※ 4週(%)		
TOPIX(東証株価指数)		+3.40	-1.51	+4.11		
S&P500		-1.35	+1.50	-0.50		
MSCI ワールド		-1.03	+1.87	+0.39		

(出所: Morningstar Direct及びブルームバーグより三菱UFJアセットマネジメント経営企画部が作成)

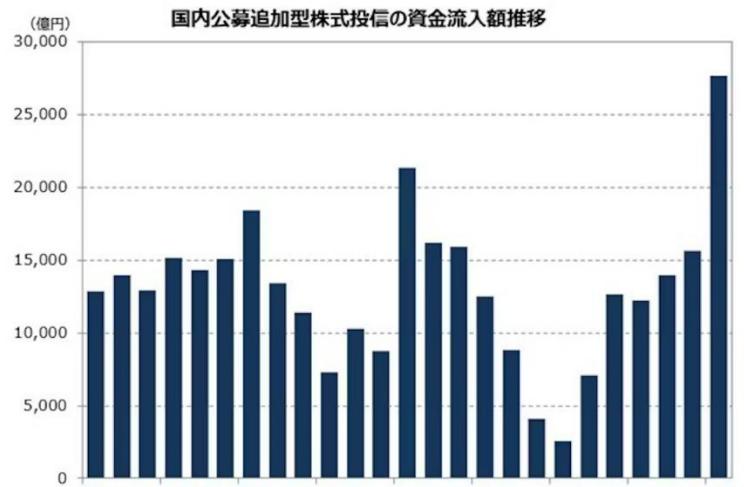
*現地通貨(MSCI ワールドは米ドルベース、配当込み指数)。

金(ゴールド)関連ファンド等の商品/Commodityは2026年2月4日週に+810億円の純流入と、週次ベースで過去最大の純流入となった前週1月28日週+924億円に次ぐ大きな純流入となった(←2026年2月4日週+810億円←2026年1月28日週+924億円→週次ベースで過去最大の純流入～←2026年1月21日週+683億円←1月14日週+411億円)。金(ゴールド)関連ファンドは米国欄参照。



2026年2月5日付日本経済新聞は「国内公募の追加型株式投資信託(上場投資信託=ETFを除く)は、1月の設定額から解約・償還額を差し引いた資金流入額の推計が2兆7639億円だった。2025年1月の2兆1,257億円(確報値)を上回り、1年ぶりに過去最高を更新した。資金流入超過は2年8カ月連続。新NISA(少額投資非課税制度)を経由した年初の買い付けが増えたことなどが寄与した。…(略)…。金(ゴールド)に投資するファンドを中心、コモディティー型へは前月(約1200億円)の2倍以上となる3,000億円超の資金が流れ込んだ。」と報じている。(強調下線は当レポート筆者、2026年2月5日付日本経済新聞「1月の投資信託、約2.7兆円の資金流入 過去最高を更新」~

<https://www.nikkei.com/article/DGXZQ01B0354F9T00C26A2000000/>、2026年1月13日付投信調査レポートNo.449「NISAの1月効果もあり投信に10か月ぶりの大きな流入! 米国で超短期債やMMFに流入!! (MMF)7週連続過去最大はステーブルコイン要因?」~ https://www.am.mufg.jp/report/investigate/report_260113.pdf)。



(注) QUICK資産運用研究所調べ。対象はETFを除く国内公募の追加型株式投信。資金流入額はファンドの設定額から解約・償還額を差し引いた値(2026年1月は推計値)、月次データ

日本株大型ブレンド/Japan Large-Cap Blend Equityも2026年2月4日週に+495億円の純流入と、週次ベースで過去最大の純流入となった前週1月28日週+768億円に次ぐ大きな純流入となった(←2026年2月4日週+495億円←2026年1月28日週+768億円～週次ベースで過去最大の純流入～←2026年1月21日週+417億円←1月14日週+290億円)。

2026年2月8日投開票の総選挙で「自民党は小選挙区選、比例選とも優勢に戦いを進め、単独で過半数(233)をうかがう勢いだ。結成したばかりの中道改革連合は伸び悩み、公示前議席を割り込みそうだ。自民(公示前勢力198)は、289の小選挙区のうち、半数近くで優勢となっている。地域別でみると中国や九州などで安定した戦いを繰り広げている。保守地盤の強い富山、鳥取などでは、議席独占の可能性がある。」(2026年1月28日付読売新聞「衆議院選挙:自民が単独過半数うかがう、中道は伸び悩み・国民横ばい・参政大幅増…読売選前情勢調査」~ <https://www.yomiuri.co.jp/election/kensei/20260125-GT1100312/>)、「①自民党は単独で過半数(233議席)を大きく上回る勢いで、日本維新の会とあわせて与党として300議席超をうかがう ②中道改革連合はふるわず、公示前勢力(167議席)から半減する可能性もある ③国民民主党はほぼ横ばい④参政党、チームみらいが躍進——などの情勢となっている。」(2026年2月1日付朝日新聞「自維300議席超うかがう 中道半減も 参政・みらい勢い 朝日調査」~ <https://www.asahi.com/articles/ASV212VHMV21UZP8002M.html>)などと報じられ、高市政権が「責任ある積極財政」や「成長投資主導型経済」を進める事が容易となり、日本株高、日本株大型ブレンドファンドへの資金流入につながった(2026年1月26日付投信調査コラムNo.437「米欧中で国内投資促進策強化!(米トランプ座、英LTAF&ISA&ハブ&DC、仏PEA&IPR、中国の個人養老金制度)、日本では維新の会や国民民主党がNISAの国内投資枠を要望(参考政党も近い要望)」~ https://www.am.mufg.jp/report/investigate/column_260126.pdf)。

2026年2月8日投開票の衆院総選挙では自民党が公示前から118議席増(中道改革連合は118議席減)の316議席と過去最多の議席を獲得、単独233人(過半数)や243人(安定多数)どころか単独310人(3分の2超)で参院で法案を否決されても再可決可能となった。今後、2月12日～16日前後に特別国会を召集、首相指名、組閣(基本変えられず)。その後、予算案・法案を衆院可決、参院に送付する。予算案は参院が30日以内に議決しなければ3月31日までに成立、法案は参院が60日以内に議決しなければ衆院3分の2以上で再可決し成立するが、自民党は参院で国民民主党などの賛成を得て可決し、3月31日までの成立をめざす事になる可能性が高い(2026年1月26日付投信調査コラムNo.437「米欧中で国内投資促進策強化!(米トランプ座、英LTAF&ISA&ハブ&DC、仏PEA&IPR、中国の個人養老金制度)、日本では維新の会や国民民主党がNISAの国内投資枠を要望(参考政党も近い要望)」~ https://www.am.mufg.jp/report/investigate/column_260126.pdf)。

(米トランプ座、英LTAF&ISA&ハブ&DC、仏PEA&IPR、中国の個人養老金制度)、日本では維新の会や国民民主党がNISAの国内投資枠を要望(参考政党も近い要望)~ https://www.am.mufg.jp/report/investigate/column_260126.pdf)。

 日本の衆議院の政党別所属議員数一覧
(衆参合計の議員数の多い順) *過半数不足は赤い色で×、過半数は水色で○。

2026年2月9日現在

	衆議院 解散直前(2026年1月23日)	過半数に不足する数	衆議院 総選挙直後(2026年2月9日午前判明分)	過半数に不足する数	総選挙直後 -解散直前
1	自由民主党	198 -35 ×	自由民主党	316 +83 ○	+118
2	中道改革連合	167 -66 ×	中道改革連合	49 -184 ×	-118
3	日本維新の会	34 -199 ×	日本維新の会	36 -197 ×	+2
4	国民民主党	27 -206 ×	国民民主党	28 -205 ×	+1
5	参政党	2 -231 ×	参政党	15 -218 ×	+13
6	チームみらい	0 -233 ×	チームみらい	11 -222 ×	+11
7	日本共産党	8 -225 ×	日本共産党	4 -229 ×	-4
8	れいわ新選組	8 -225 ×	れいわ新選組	1 -232 ×	-7
9					
10	日本保守党	1 -232 ×	日本保守党	0 -233 ×	-1
11	無所属(与党系)	3 -230 ×	無所属(与党系)	2 -231 ×	-1
12	無所属(野党系)	7 -226 ×	無所属(野党系)	2 -231 ×	-5
13	減税日本・ゆうこく連合	5 -228 ×	減税日本・ゆうこく連合	1 -232 ×	-4
14	不出馬の立憲2人・公明3人	5 -228 ×	-	-	
	合計(定数465)	465	合計(定数465)	465	+0
	過半数	233	過半数	233	+0
A	与党(自民+維新)	232 -1 ×	与党(自民+維新)	352 +119 ○	+120
B	与党(自民+維新)+国民	259 +26 ○	与党(自民+維新)+国民	380 +147 ○	+121
C	与党(自民+維新)+参政	234 +1 ○	与党(自民+維新)+参政	367 +134 ○	+133
D	与党(自民+維新)+みらい	232 -1 ×	与党(自民+維新)+みらい	363 +130 ○	+131
	非与党合計	233 +0 ○	非与党合計	113 -120 ×	-120

(出所: 各種報道より三菱UFJアセットマネジメント経営企画部が作成)

 日本の参議院の会派別所属議員数一覧
(衆参合計の議員数の多い順) *過半数不足は赤い色で×、過半数は水色で○。

2026年2月9日現在

	参議院 (2026年2月9日)	過半数に不足する数	衆参合計 解散直前	衆参合計 総選挙直後
1	自由民主党・無所属の会(*)	101 -24 ×	299	417
2	立憲民主・社民・無所属と公明党(*)	64 -61 ×	231	113
3	日本維新の会	19 -106 ×	53	55
4	国民民主党・新緑風会	25 -100 ×	52	53
5	参政党	15 -110 ×	17	30
6	チームみらい・無所属の会(*)	2 -123 ×	2	13
7	日本共産党	7 -118 ×	15	11
8	れいわ新選組	6 -119 ×	14	7
9	各派に属しない議員(*)	5 -120 ×	5	5
10	日本保守党	2 -123 ×	3	2
11	沖縄の風	2 -123 ×	2	2
12	無所属(野党系)	0 -125 ×	7	2
13	減税日本・ゆうこく連合	0 -125 ×	5	1
14	-	-	-	-
	合計(定数248)	248	713	713
	過半数	125	358	358
A	与党(自民+維新)	120 -5 ×	352	472
B	与党(自民+維新)+国民	145 +20 ○	404	525
C	与党(自民+維新)+参政	135 +10 ○	369	502
D	与党(自民+維新)+みらい	122 -3 ×	354	485
	非与党合計	128 +3 ○	361	241

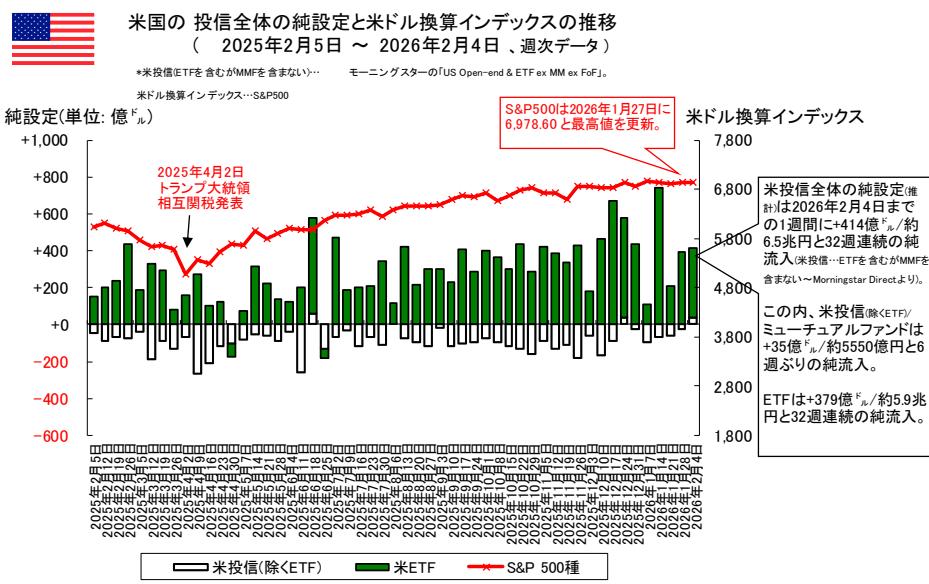
(出所: 各種報道より三菱UFJアセットマネジメント経営企画部が作成)

*参議院の「各派に属しない議員」には会派離脱中である自民党的閑口昌一参議院議長と立憲民主党的福山哲郎参議院副議長が含まれ、参院では議長は投票せず副議長は投票する慣例がある為(議長・副議長の投票を入れても決選で同数の場合は「くじで定める」)、立憲民主党的福山哲郎参議院副議長を「各派に属しない議員」から「立憲民主・社民・無所属と公明党」に移してある。また、参議院の「各派に属しない議員」にはチームみらいの安野貴博氏と無所属の尾辻朋実氏が含まれ、2026年1月20日に参議院会派「チームみらい・無所属の会」を結成している事から、「各派に属しない議員」から「チームみらい・無所属の会」に移してある。

●米国で米国株や金(ゴールド)のファンドに資金流入～世界のゴールド/金関連ファンド(ETFを含む)～

米国籍投信の週次純設定/ファンド(マネー)フロー推計は2026年2月4日までの1週間に+414億ドル/約6.5兆円と32週連続純流入(米投信…ETFを含むがMMFを含まない～Morningstar Directより)。この内、米投信(除くETF)/ミューチュアルファンドは+35億ドル/約5,550億円と6週ぶりの純流入、ETFは+379億ドル/約5.9兆円と32週連続の純流入(継続的なミューチュアルファンドの純流出と

ETFの純流入にはミューチュアルファンドからETFへのコンバージョン/転換も寄与…2023年11月27日付日本版ISAの道 その391「アクティブ運用型ETFが米国を中心世界で急増!」～ https://www.an.mifg.jp/report/investigate/column_231127.pdf)



2026年2月4日週の投信全体(含むETF、除くMMF)純設定額を分類別に見る。純流入1～3位は米国大型ブレンド株(S&P500連動など)、米国中長期コア債、外国大型ブレンド株(日本株は-1億ドルと2週連続純流出、債券が+197億ドルと2週連続で増加)。純流出1～3位は、米国テクノロジー株、米国中型グロース株、デジタル資産(ビットコイン等)。

米投信の分類別週間純出入(純流入の大きい順)		2026-02-04現在				
		純流入 最新週 (百万ドル)	純流入 前週 (百万ドル)	純流入 4週計 (百万ドル)	純資産 (百万ドル)	備考
上位分類	1 Large Blend	+8,026	-3,008	+30,385	5,130,654	米国大型ブレンド株(S&P500連動など)
	2 Intermediate Core Bond	+4,045	+3,024	+11,561	716,206	米国中長期コア債
	3 Foreign Large Blend	+3,283	+4,476	+10,711	1,470,288	外国大型ブレンド株
	4 Intermediate Core-Plus Bond	+3,265	+948	+6,229	669,912	米国中長期コアプラス債
	5 Diversified Emerging Mkts	+3,169	+5,187	+16,308	681,667	グローバル・エマージング株
	6 Ultrashort Bond	+3,047	+2,149	+7,536	432,852	米国超短期債
	7 Natural Resources	+2,222	+2,006	+6,637	78,314	天然資源関連株
	8 Equity Energy	+2,015	+1,000	+3,926	60,900	エネルギー株(非MLP)
	9 Industrials	+1,973	+1,127	+5,017	93,937	農業・インフラ・輸送等
	10 Global Large-Stock Blend	+1,793	+1,010	+4,539	189,352	グローバル大型ブレンド株
	12 Commodities Focused	+1,477	+1,930	+7,310	375,602	商品・フォーカス
	99 Japan Stock	-142	-156	+548	44,862	日本株
下位分類	115 Health	-568	+582	+1,041	121,138	ヘルスケア株
	116 Mid-Cap Value	-607	-645	-2,497	311,164	米国中型バリュー株
	117 Government Mortgage-Backed Bond	-679	+138	-297	84,159	政府系住宅ローン担保証券
	118 Trading-Inverse Equity	-700	+437	-9	10,449	トレーディングインバース株式(ペア型)
	119 Small Value	-794	+716	-1,032	265,201	米国小型バリュー株
	120 Bank Loan	-922	-503	-756	58,052	米国バンクローン
	121 Large Growth	-1,025	+853	+951	1,954,923	米国大型グロース株
	122 Digital Assets	-1,083	-1,114	-2,161	118,461	デジタル資産(ビットコイン等)
	123 Mid-Cap Growth	-1,549	-154	-2,632	276,601	米国中型グロース株
	124 Technology	-1,905	+1,824	+403	461,836	米国テクノロジー株
	全124分類の合計	+41,399	+37,306	+160,695	21,682,416	
	指標名	リターン※ 最新週(%)	リターン※ 前週(%)	リターン※ 4週(%)		
	TOPIX(東証株価指数)	+3.40	-1.51	+4.11		
	S&P500	-1.35	+1.50	-0.50		
	MSCI ワールド	-1.03	+1.87	+0.39		

(出所: Morningstar Direct及びブルームバーグより三菱UFJアセットマネジメント経営企画部が作成)

現地通貨(MSCI ワールドは米ドルベース、配当込み指標)

米国株ファンドは全体で+43億ドルの純流入、コモディティファンドは全体で+13億ドルと13週連続の純流入、金ETF等の「商品・フォーカス/Commodities Focused」は+15億ドルの純流入である。

金価格(ロンドン現物価格)が2026年1月29日に1トロイオンス/約31.1グラム5,594.82ドルの最高値を付けた翌1月30日に前日比-530ドル/9.8%の4,864.35ドルに急落した。2026年1月30日にドナルド・トランプ/Donald Trump米大統領がケビン・ウォーシュ/Kevin Warsh氏を米連邦準備理事会/FRB議長に指名(2026年1月30日付The White House「Wide Acclaim for President Trump's Nomination of Kevin Warsh as Fed Chair」~ <https://www.whitehouse.gov/articles/2026/01/wide-acclaim-for-president-trumps-nomination-of-kevin-warsh-as-fed-chair/>)、ウォーシュ氏が金融緩和消極派で量的緩和第3弾(2012年9月13日発表)を疑問視した事もあり、今回の指名で米ドル買い・金売りのきっかけとなった。

ただ、2026年1月29日に英国に本部を置く国際調査機関ワールド・ゴールド・カウンシル/World Gold Council/WGCが世界の金(ゴールド)の需要統計を発表しており(2026年1月29日付World Gold Council「Gold Demand Trends: Q4 and Full Year 2025」~

<https://www.gold.org/goldhub/research/gold-demand-trends/gold-demand-trends-full-year-2025>)、それによると、2025年に需要は前年比+0.8%増の5,002.3トン、金額ベースでは同45%増の5,550億ドル/約85兆円と過去最高を記録していた。金需要を牽引したのが「投資/Investment」で前年からは+989.9トン増となり(宝飾品/Total Supply-388.6トン減、産業/Technology-3.4トン減)、「投資」の中で

大きかったが金ETF等/ETFs & Similar Productsで前年から+804.1トン増(2025年10~12月前年同期比も+154.2トン)。**2026年も地政学的緊張を背景にETFへの資金流入や、地金とコインへの需要は継続する**と言う。

世界のゴールド/金関連ファンド(ETFを含む)の月次純流入を見る。**世界のゴールド/金関連ファンド(ETFを含む)の純資産は2026年1月末時点で推計8,300億ドル/約128兆円と過去最大を更新中**である(入手出来る最新値の合計であり、FOFを含む)。**世界のゴールド/金関連ファンド(ETFを含む)の純設定は2026年1月に推計+190億ドル/約2.9兆円と2025年9月(+201億ドル)**に過去最大をつけてから鈍化していたが、再び純流入が加速している(中国籍は純設定データが十分に得られないため除く)。純設定を国籍別に見ると、2026年1月は米国籍が最も大きいが、純資産規模でみて小さい日本籍の純流入が米国籍に次いで2番目に大きい。

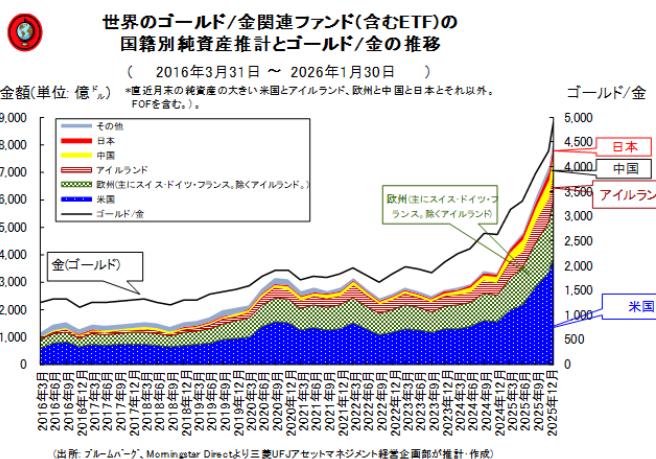
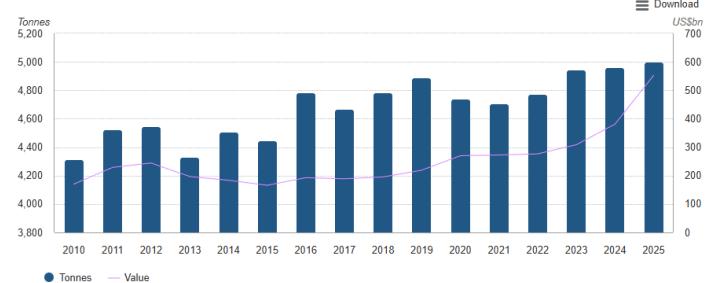


Chart 1: Global annual gold demand breaches 5,000t and US\$500bn

Annual gold demand in tonnes and US\$b*
Tonnes



Sources: ICE Benchmark Administration, Metals Focus, Refinitiv GFMS, World Gold Council; Disclaimer

*Data to 31 December 2025.



以上

三菱UFJアセットマネジメント【投信調査コラム】日本版ISAの道(及び投信調査レポートの一部)のバックナンバー:

「<https://www.am.mufg.jp/report/investigate/>」。

三菱UFJアセットマネジメント株式会社 経営企画部シニアリサーチアナリスト

松尾 健治(kenji-matsuo@am.mufg.jp)、

窪田 真美(mami1-kubota@am.mufg.jp)。

本資料に関してご留意頂きたい事項

- 本資料はNISA(少額投資非課税制度)など内外の資産運用に関する情報提供のために、三菱UFJアセットマネジメントが作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。販売会社が投資勧誘に使用することを想定して作成したものではありません。投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。
- 本資料中の運用実績等に関するグラフ・数値等はあくまでも過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮しておりませんので、投資者の皆様の実質的な投資成果を示すものではありません。市況の変動等により、方針通りの運用が行われない場合もあります。
- 本資料に示す意見等は、特に断りのない限り本資料作成日現在の筆者の見解です。
- 投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。
- 投資信託は値動きのある有価証券を投資対象としているため、当該資産の価格変動や為替相場の変動等により基準価額は変動します。従って投資元本が保証されているわけではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。
- 投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。

本資料中で使用している指標について

- TOPIX(東証株価指数)に関する知的財産権その他一切の権利は株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社に帰属します。
- MSCI ワールド インデックス、MSCI ジャパンに対する著作権およびその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。



三菱UFJアセットマネジメント

三菱UFJアセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号
加入協会：一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会